

小規模多機能型居宅介護 2021年度サービス評価

【優っくり小規模多機能居宅介護高輪台】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 2 月 1 3 日 (14 : 00 ~ 14 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 加藤、松原、佐藤、丸山、松田、田辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	5	4	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	6	3	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	3	3	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	0	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 利用者への声かけをすることができている。 ② 新規利用者とどうすれば打ち解けるか常に考え行動できていた。 ③ ケア方法などしっかりと確認し対応方法について考えケアしていた。 ④ 本人や家族の希望に沿ったケアをすることができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 利用者とはゆっくりと話す時間が不足していた。 ② 情報共有ができていない時があった。 ③ 家族との関わりができていない。 ④ 本人や家族の希望どおりのケアや対応が難しい時があり、できていない。 ⑤ 初回の利用者に対して適切な介助ができているのか自身がない。 (急遽利用になった場合は情報が不十分になっている)	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
① 毎月事業所ミーティングまたは全体ミーティングを開催する。 ② ミーティングに参加できない場合は、議事録で内容を確認し情報収集する。 ③ 回覧などの情報は確実に閲覧し情報を共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年12月 13日 (14:00~14:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 加藤、松原、佐藤、丸山、松田、田辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	4	4	1	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	6	2	1	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	4	1	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	4	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	在宅での生活を継続できるよう目標を目指した日々のかかわりをしている。
②	利用者の目標を聴き取り、目指したかかわりをする事ができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	目標がわからない、できない利用者に対して自己実現の尊重が難しくできていない。
②	認知症ケア、予防などの手段がわからない時がある。
③	日常の業務を回す事が中心になり利用者の目標に対して支援ができない
④	カンファレンスの開催、振り返りができない。(計画書通りの支援ができない。)

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①	カンファレンスの開催、振り返り、対応方法を検討していく。
②	利用者とのかかわりを増やしていく中で担当制をつくりあげていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 2 月 1 3 日 (14 : 00 ~ 14 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 加藤、松原、佐藤、丸山、松田、田辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	5	2	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	9	0	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	4	4	1	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	6	2	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	6	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 利用者に応じた食事、入浴介助など介護ができている。 ② 利用者の思いや体調変化に気づき対応することができている。 ③ 本人の状況に合わせた介護を看護師の意見も取り入れ連携して支援している。 ④ 不明点はすぐに確認し情報収集し共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 状況や情報が不明瞭な場合、確認してもわからない時がある。 ② 以前の暮らしに関しては、把握できていないことがある。 ③ 心の声や日常の変化などをミーティングで自分から共有することができていない。 ④ 情報共有ができていない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 情報共有するためにも担当者が積極的に情報発信していく。 ② チームがまとまるようにミーティングを増やしていく ③ 日誌などで毎日の役割が決まっているものしか対応していない事も多く、日勤リーダーを決めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 2 月 1 3 日 (14 : 00 ~ 14 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 加藤、松原、佐藤、丸山、松田、田辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	3	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	1	4	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	3	3	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	2	2	

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

① 家族からの情報により利用者の生活スタイルや関係性を理解している。
② 送迎や訪問などの時間に家族との関係を深めている。
③ 訪問や送迎時、地域の関係性や家族と連携することで本人と家族の関係を努めている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

① 本人に関わる生活や普段の生活と地域資源が把握していない
② 本人の普段の人間関係やその維持に関しては、理解してない。
③ 暮らしに必要な民生委員や地域資源に把握できていない

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

① 今までの生活スタイルや人間関係をアセスメントし情報共有していく。
② 地域資源を把握していくことで新しい生活様式を見つけていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年12月13日 (14:00~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 加藤、松原、佐藤、丸山、松田、田辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	5	1	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	7	2	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	0	7	1	1	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	8	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	その時その時の本人の状態やニーズに合わせて柔軟に支援、対応ができています。
②	ニーズに合わせて日々の職員同士の連携により臨機応変な対応はできている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	家族の情報を記録に落とせてない。
②	全員に情報共有ができていない事がある
③	独居の方など個々に地域資源を使用しているも何を使用しているのか把握していない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①	申し送りの内容を記録に落とす事を徹底。
②	モニタリングを通して本人の話を聞き取りながら関係職種と連携していく。
③	地域資源の把握と独居で地域と関わっている利用者へは継続的に関わられるように懸け橋となっていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年12月13日 (14:00~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 加藤、松原、佐藤、丸山、松田、田辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	3	1	5	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	1	6	9
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	0	0	4	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	4	1	4	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① サービス担当者会議参加や自治体、地域包括支援センターとの会議に参加することができている。 ② オレンジカフェへ地域住民や子供たちが事業所を訪れることができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 会議、イベントへ参加することができていない。 ② シフト調整ができず参加することができない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 積極的に自治体や地域包括支援センターとの会議に参加する。 ② 職員も参加できるようシフトを調整していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年12月13日(14:00~14:30)

7. 運営

メンバー 加藤、松原、佐藤、丸山、松田、田辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	6	2	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	2	1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	2	3	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	2	2	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 自宅への訪問のためサービス担当者会議ができている ② 医療機関や訪問看護との連携はできている。 ③ 地域に事業所を周知できるように認知症カフェなどを通して地域貢献活動を行う時もある。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 地域からの情報共有ができていない。 ② 利用者、家族からの意見をすべて反映することができない。 ③ 職員間の情報共有ができていない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① オレンジカフェやイベントを定期的で開催し地域と協働した取組や地域交流を図る。 ② ミーティングや全体会議内で意見や苦情に関して、情報共有し振り返りや改善策を立案していく。 ③ 運営に関して、職員、利用者、家族からの意見など積極的に取り入れていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 1 2 月 1 3 日 (1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 加藤、松原、佐藤、丸山、松田、田辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	6	1	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	1	1	9
③	地域連絡会に参加していますか		2	3	3	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	1	1	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	内部研修を定期的で開催し参加することができる。
②	苦情処理やヒヤリハットに関しての記録はできる

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	リスクマネジメントに関する情報が少ない。
②	ヒヤリハットは、あがるも改善までは一分スタッフのみで展開できていない
③	地域連絡会に参加できていない。
④	向上心はありスキルアップにより資格をとる意欲はあるが、研修に参加していない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①	身体拘束廃止研修、虐待防止研修を定期的で開催する。(内部研修、外部研修、WEB 研修)
②	毎月の全体研修、主任研修、課長研修へ全職員が研修へ参加できるよう促していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3年12月13日 (14:00~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 加藤、松原、佐藤、丸山、松田、田辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	3	0	0	9
②	虐待は行われていない	6	3	0	0	9
③	プライバシーが守られている	4	2	2	1	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	3	1	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	3	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 身体拘束、虐待はしていない。	
② 個人情報管理はできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 声かけや介助方法が不適切ケアに繋がることもある。	
② 成年後見人制度を理解していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 接遇マナー研修、身体拘束	
② 毎月開催の全体研修、主任研修、課長研修へ全職員が研修へ参加できるよう促していく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 奉優会	代表者	理事長 香取眞恵子	法人・ 事業所 の特徴	令和3年4月より事業を開設 当法人の事業所のコンセプト「その人らしい暮らしを大切にするためになじみある生活もゆっくり・一緒に・楽しく」住み慣れた自宅、地域で自分らしく安心して在宅生活を継続できるよう「通い」「訪問」「泊り」の柔軟に支援している。
事業所名	優つくり小規模多機能居宅介護高輪台	管理者			

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	1人	3人	6人	1人	0人	9人	0人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			①自己評価に取り組み事業所の課題解決に取り組んで欲しい。 ②地域交流ができる環境なのかコロナ渦でもできる事を把握し新しい生活様式を取り入れ地域貢献ができるスタイルを作るよう努力していた。	①職員全員が事業所自己評価に取り組み、意見が反省されるよう継続していく。 ②定期的に常勤会議や事業所会議を開催し情報共有、課題解決をしていく。 ③カンファレンスを開催、振り返り、対応方法を検討していく。
B. 事業所のしつらえ・環境			①コロナ渦でも家族や地域の方が事業所に入りやすい環境を継続していると思うが、コロナ渦のため、フロアへ行くことができない。 ②玄関の鍵は防犯上必要である。 ③清潔な施設である。	①コロナ渦のため、閉鎖的にならずオープンな施設として事業所のしつらえ・環境を整備していく。 ②状況に応じて環境整備し居心地の良い環境・空間を考えていく。 ③防犯上、玄関に鍵はかかっているが利用者の意思に応じ外出などしていく。
C. 事業所と地域のかかわり			①オレンジカフェ開催し地域住民や子供達が事業所を訪れ参加することができた。 ②サービス機関、自治体や地域包括支援センターとの会議に参加している。	①地域資源を把握し新しい生活様式を見つけていく。 ②地域包括支援センター、民生委員と連携し近隣住民の介護保険相談窓口として相談しやすい環境を継続していく。

				③今までの生活スタイルや人間関係をアセスメントし情報を共有してく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			①利用者の希望に応じて地域へ出向く努力をしている。 ②地域の行事やイベントへ参加することができていない。	①地域の行事やイベントへ職員と参加し利用者の望む生活、役割を作っていく。 ① 地域包括支援センター、居宅と連携し近隣の方の支援を継続していく。 ③ 地域資源を把握していくことで新しい生活様式を見つけていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			①運営推進会議を2ヶ月1回開催し、事業所の取り組みや地域の情報など確認することができている	①運営推進会議を事業所内で開催やWebで開催し、事業所の取り組みの発信、事例検討会、地域の取り組みを共有し取り組んでいく。また、意見を改善するように努めて利用者および家族、地域住民が安心して地域の中で生活ができるよう継続していく。
F. 事業所の防災・災害対策			①防災・災害対策はできていると思うが、発信されているかわからない。 ②事業所の防災・災害対策に関してマニュアルを作成、定期的に防災訓練を実施している。	①防災・災害対策について、行政マニュアルに沿って防災訓練の継続、家族や地域の方と連携を取れる環境を整備していく。

